

平成30年度大阪府立稲スポーツセンター指定管理者評価票

評価基準（内容）		指定管理者の自己評価		施設所管課の評価		評価委員会の指摘・提言
			評価 S～C		評価 S～C	
1 施設の設置 目的及び管 理運営方針	(1) 施設の設置目的及び管理運営方針 に沿って運営しているか	<p>(1)</p> <p>■ 事業提案(参考2)の「施設の管理運営を実施する際の基本方針」に基づき、自己決定と自己選択による利用者本位のサービス提供の考えのもと、障がいのある方々にスポーツ、文化・レクリエーション活動を提供し、社会参加の促進を図っている。</p> <p>スポーツ事業では、利用者のスキルに応じて、そのきっかけを作ることを目的とした事業、競技志向やスキルアップをめざすことを目的とした事業を継続して実施した。</p> <p>文化事業では、年齢・年代にあったプログラムを継続して実施。音楽的要素と身体的活動要素を組み合わせた和太鼓、落ち着いた環境で丁寧に文字を書くという取組で書き方、また、作品作りを通しての達成感や趣味としての広がりを持つプログラムを実施した。</p> <p>開放事業は、体育室で専有利用していない時間帯を自由に個人利用できるよう開放した。</p> <p>■ 「障がい者の理解」、「交流と参加」、「地域福祉」などについて府民の意識が深められるよう、障がい者と健常者がともに活動できる交流参加型の事業やボランティア講師との協働事業等を通じて啓発に努めている。</p>	A	<p>(1)</p> <p>利用者本位の考えのもと、障がいのある方々にスポーツ、文化、レクリエーション活動を提供し、社会参加の促進を図っている。</p> <p>スポーツ事業や文化事業を実施する際は、利用者のスキルに応じたプログラムや年齢・年代にあったプログラム等を実施している。</p> <p>また、「障がい者の理解」、「交流と参加」、「地域福祉」などについて府民の意識が深められるよう、啓発にも努めている。</p> <p>以上のことから、概ね施設の設置目的及び管理運営方針に沿って運営されていると判断される。</p>	A	特段の指摘・提言なし
	(2) 指定管理者として、管理運営業務のほか権限行使や組織体制運営等を適正に行っているか。また、関係法令を遵守しているか。	<p>(2)</p> <p>■ 管理運営業務について</p> <p>① 休館日・開館時間</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・休館日：毎週火曜日及び祝日の翌平日。 (その日が国民の祝日に関する法律に規定する休日にあたる場合は、次の平日を休館日とする。)、年末年始(12月29日から翌年1月3日までとする。)</li> <li>・開館時間：午前9時30分から午後8時30分まで</li> </ul> <p>② 施設使用料の徴収については稲スポーツセンター条例第4条別表に基づき適正に履行している。</p> <p>③ 障がい者の利用等に際しての合理的配慮については、施設内各所における点字表記を行い、また、施設各所の音声案内を行っている。</p>		<p>(2)</p> <p>休館日を毎週火曜日及び祝日の翌平日とし、施設使用料の徴収についても適正に履行している。</p> <p>組織体制運営については別添資料「管理体制計画書」のとおり運営し、また、障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律、及び労働関係法令違反は確認されていない。</p> <p>以上のことから、指定管理者として管理運営業務のほか権限行使や組織体制運営等を概ね適正に行っており、関係法令も遵守していると判断される。</p>		

		<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 震災による府立高等学校体育館の代替利用提供。 平成30年12月28日現在 3団体8回利用。</li> <li>■ 組織体制運営については参考3「大阪府立稲スポーツセンター管理体制について」参照。</li> <li>■ 障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律、及び労働関係法令を遵守している。</li> </ul>				
2 平等な利用を図るための具体的手法・効果	<p>(1) 障がい者の利用に際し、合理的配慮を適切に行うなど、公平なサービス提供、対応を行っているか。</p>	<p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 全ての利用者に安心して利用いただけるよう安全面に十分留意し、当法人が培ってきた障がい者支援のノウハウを活用して利用者一人ひとりの障がい特性、心身の状況やニーズに応じ、必要かつ合理的な配慮と適切な支援を行っている。 具体的には、シンボル、絵など補助コミュニケーション手段の活用等を行っている。</li> <li>■ 施設の利用が特定の団体やグループに偏ることなく、より多くの府民が公平に利用機会を持てるよう努めている。</li> <li>■ 利用承認、その他利用に関する業務について <ul style="list-style-type: none"> <li>① 貸館の申込みや、利用方法等については、受付において「施設利用のご案内」を交付するとともに説明を実施している。</li> <li>② 予約申込みは、総合受付及び電話、FAXによる受付を実施している。</li> <li>③ 利用の承認については、大阪府立稲スポーツセンター条例第2条に基づき適切に行っている。</li> <li>④ 施設利用区分ごとの帳票の整備については、「利用者受付システム」において適切に管理している。</li> <li>⑤ 貸館行事の進行管理については、施設毎に台帳による管理を行うとともに、3か月先までの予約状況をホームページに掲載している。</li> <li>⑥ 諸設備等の状況については、毎日始業前後の日常点検を実施している。また法定点検等においても立ち会って確認するとともに、不具合については、補修・修理を実施している。</li> </ul> </li> </ul>	A	<p>(1)</p> <p>利用者の安全面に十分留意し、シンボル、絵など補助コミュニケーション手段を活用するなど、利用者一人ひとりの障がい特性、心身の状況やニーズに応じ、必要かつ合理的な配慮と適切な支援を行っている。</p> <p>施設の利用については、府民が公平に利用機会を持てるよう努めており、貸館をはじめ、利用方法やその手続等については、受付において交付する「施設利用のご案内」を用いて説明するなど、利用承認、その他利用に関する業務等についても適正に実施している。また、一方で、障がい特性に応じて選択できるプログラムや交流参加型事業など多岐にわたるサービスを提供している。</p> <p>以上のことから、障がい者の利用に際し、合理的配慮を適切に行うなど、概ね公平なサービス提供、対応を行っていると判断される。</p>	A	特段の指摘・提言なし

		<p>■ プログラムについては、障がいのある児童から高齢者まで、障がい特性に応じて選択できるプログラムや障がい者と健常者がともに活動できる交流参加型事業など多岐にわたり提供している。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>障がい特性</th> <th>主なプログラム</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・知的障がい ・発達障がい (協調性運動障害)</td> <td>障がい児体操教室(キッズクラブ、サマーキッズ) エンジョイスポーツプログラム(トランポリン)</td> </tr> <tr> <td>・高齢障がい者</td> <td>いきいき健康体操</td> </tr> <tr> <td>・用具の使用やルール の理解が苦手な方 ・全ての障がい者</td> <td>エアロビクスダンス1・2、エンジョイダンス</td> </tr> <tr> <td>・激しい運動に制限のある方 ・車いす利用者</td> <td>ビームライフル射撃サークル 全ての教室</td> </tr> <tr> <td>・対人で取り組むことが 苦手な方</td> <td>フライングディスク練習会</td> </tr> <tr> <td>・運動が苦手な方 ・歩行が困難な方 等</td> <td>文化教室</td> </tr> <tr> <td>・障害の有無を問わず</td> <td>クラフト、ラフターヨガ、ジャンベ、書き方、メイク体験、コンサート事業、DVD鑑賞、音楽、和太鼓</td> </tr> </tbody> </table> <p>■ ホームページ等可能な限りの媒体を使用して施設の利用状況や事業内容についての情報を発信している。</p>	障がい特性	主なプログラム	・知的障がい ・発達障がい (協調性運動障害)	障がい児体操教室(キッズクラブ、サマーキッズ) エンジョイスポーツプログラム(トランポリン)	・高齢障がい者	いきいき健康体操	・用具の使用やルール の理解が苦手な方 ・全ての障がい者	エアロビクスダンス1・2、エンジョイダンス	・激しい運動に制限のある方 ・車いす利用者	ビームライフル射撃サークル 全ての教室	・対人で取り組むことが 苦手な方	フライングディスク練習会	・運動が苦手な方 ・歩行が困難な方 等	文化教室	・障害の有無を問わず	クラフト、ラフターヨガ、ジャンベ、書き方、メイク体験、コンサート事業、DVD鑑賞、音楽、和太鼓			
障がい特性	主なプログラム																				
・知的障がい ・発達障がい (協調性運動障害)	障がい児体操教室(キッズクラブ、サマーキッズ) エンジョイスポーツプログラム(トランポリン)																				
・高齢障がい者	いきいき健康体操																				
・用具の使用やルール の理解が苦手な方 ・全ての障がい者	エアロビクスダンス1・2、エンジョイダンス																				
・激しい運動に制限のある方 ・車いす利用者	ビームライフル射撃サークル 全ての教室																				
・対人で取り組むことが 苦手な方	フライングディスク練習会																				
・運動が苦手な方 ・歩行が困難な方 等	文化教室																				
・障害の有無を問わず	クラフト、ラフターヨガ、ジャンベ、書き方、メイク体験、コンサート事業、DVD鑑賞、音楽、和太鼓																				

3 利用者の増加やサービスの向上を図るための具体的手法・効果	<p>(1) 利用者増加のための工夫をしているか (ex. 平日稼働率の向上)</p> <p>【指標】 利用者数 (前年同月との比較)、稼働率 (前年同月との比較)</p>	<p>(1) 今年度の事業予定回数と実績 * ( ) 内は平成 29 年度実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>スポーツ事業</th> <th>文化事業</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>年間予定回数</td> <td>334 (322)</td> <td>115 (112)</td> </tr> <tr> <td>実施回数 (平成 30 年 12 月 28 日現在)</td> <td>262</td> <td>76</td> </tr> </tbody> </table> <p>【広報】 ■ 利用者の増加を図るため、以下の取組を行っている。 ① ホームページにおいて、施設案内や事業案内などリアルタイムで情報を発信している。</p>		スポーツ事業	文化事業	年間予定回数	334 (322)	115 (112)	実施回数 (平成 30 年 12 月 28 日現在)	262	76	A	<p>(1) ホームページにおいて、施設案内や事業案内などリアルタイムで情報を発信している。 また、機関紙「チャレンジ」の配布に加え、福祉事業所や職業訓練校、支援学校等に利用案内を行っており、箕面市の広報紙やみのおコミュニティ放送を活用した広報も展開している。 プログラムについても、利用者一人ひとりのニーズ、スキルに応じた段階的なプログラムや、趣味として楽しむことのできる活動を提供するなど充実に努め、これらの取組により、利用者数、稼働率について以下のような結果となった。 (参考 4 及び参考 5 参照)</p>	A	障がい者スポーツ指導員等の資格取得に係る学校等との連携といった取組については、さらに拡充できないか検討すべき。
	スポーツ事業	文化事業													
年間予定回数	334 (322)	115 (112)													
実施回数 (平成 30 年 12 月 28 日現在)	262	76													

		<p>② 事業案内や機関紙「チャレンジ」を大阪府内の障がい者団体、関係機関、支援学校、近隣の福祉事業所、箕面市内の支援学級、知的障害自立支援コース設置校、共生推進教室設置校など177か所に配布している。 直接案内が伝わるよう広報の強化に努めた。 機関紙(チャレンジ)発行回数・部数:年3回、(平成28年度1,200部/回、平成29年度1,500部/回、平成30年度1,500部/回) 学校から機関紙の案内を見ての申込み・問い合わせや他の障がい者関係機関で機関紙を見た方の申込みが定着されてきた。</p> <p>③ 箕面市の広報紙やみのおコミュニティー放送を活用した広報を展開している。近隣市は、所在が箕面市であるため、掲載不可。</p> <p>④ 稼働率を向上させるため、福祉事業所や職業訓練校、また、支援学校等に利用案内を行うとともに、ホームページで利用情報が確認できるよう、利用予定表を掲載している。</p> <p><b>【スポーツ事業】</b></p> <p>■ 利用者一人ひとりのニーズ、スキルに応じた段階的なプログラムを構築し、利用者が自分に合ったプログラムを選択できるようにしている。</p> <p>①初心者プログラム</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・エンジョイスportsプログラム(バドミントン、ショートテニス、フライングディスク、風船バレー、トランポリン)</li> <li>・スポーツ講習会(各教室・サークル等において体験利用として実施)</li> </ul> <p>②スキルの獲得をめざすプログラム</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ教室(バドミントン、ショートテニス、バスケットボール、ジュニアクラブ)</li> </ul> <p>③継続した取組ができるサークル活動の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・卓球、バスケットボール、エアロビクスダンス、ビームライフル射撃サークル</li> </ul> <p>④スキルの向上をめざすプログラム</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スキルアップ練習会(卓球、ショートテニス、フライングディスク)、ビームライフル射撃サークル</li> </ul> <p>⑤練習の成果を試す</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・稲スポーツセンター杯卓球大会の開催</li> <li>・障がい者スポーツ大会・西日本障害者ライフル射撃大会・全日本障害者ライフル射撃大会への出場支援</li> <li>・支援学校等ダンスパフォーマンス大会大阪への出場支援</li> </ul> <p>⑥基礎体力の維持、向上を図るプログラム</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・トレーニング講習会</li> </ul>		<p>(利用者数)</p> <p>平成29年度上半期(4月～1月)</p> <p>障がい者:20,018人</p> <p>一般:7,551人</p> <p>合計:27,569人</p> <p>平成30年度上半期(4月～1月)</p> <p>障がい者:19,828人(▲190人)</p> <p>一般:7,901人(+350人)</p> <p>合計:27,729人(+160人)</p> <p>(稼働率)</p> <p>平成29年度上半期(4月～12月)</p> <p>体育館:80.7%</p> <p>会議室:26.7%</p> <p>多目的室:35.6%</p> <p>平成30年度上半期(4月～12月)</p> <p>体育館:81.7%(+1.0%)</p> <p>会議室:28.1%(+1.4%)</p> <p>多目的室:35.1%(▲0.5%)</p> <p>利用者数合計については微増しているが、障がい者利用者数は微減しているため、今後、運営上、重く考慮していくべき事項である。</p> <p>稼働率については、概ね上昇している。ただし、多目的室については微減のため、今後注視を要する。</p> <p>稲スポーツセンターの事業内容を広く知ってもらうため、文化事業で制作した作品やスポーツ事業の写真などの活動展を平成31年3月に開催予定である。</p> <p>大阪医療専門学校と連携し、資格取得をめざす学生に対して実習の場を提供している。</p> <p>また、障がい者スポーツ物品や楽器等の貸出を行い、地域での障がい者スポーツの振興や文化活動を支援している。</p> <p>以上のことから、概ね利用者増加のための工夫を行っている判断される。</p>	
--	--	--	--	--	--

		<p>⑦遊びを通じた体力作り</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・障がい児体操教室（キッズクラブ、サマーキッズ）</li> <li>・スポーツ教室（ジュニアクラブ）</li> </ul> <p>⑧余暇活動支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・レクリエーション大会・ホリディクラブ、水曜サークル</li> <li>・一般個人開放</li> </ul> <p><b>【文化事業】</b></p> <p>■ 趣味として楽しむことのできる活動を提供している。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①手作りおやつ教室</li> <li>②クラフト教室（カレンダー作り、インテリアガーデニング、カード作り、張り子等）</li> <li>③音楽関係教室（音楽療法士らによる年齢別プログラムの提供）</li> <li>④和太鼓教室</li> <li>⑤ラフターヨガ</li> <li>⑥ジャンベクラブ</li> <li>⑦書き方教室</li> <li>⑧メイクアップ体験会</li> <li>⑨コンサート事業</li> </ol> <p><b>【交流参加型事業】</b></p> <p>■ 障がい者と健常者がともに参加できる事業を通じ、障がい者理解を深めている。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①クラフト教室（インテリアガーデニング、ビーズクラフト、張り子）</li> <li>②ラフターヨガ</li> <li>③ジャンベクラブ</li> <li>④書き方教室</li> <li>⑤メイクアップ体験会</li> <li>⑥コンサート事業</li> <li>⑦DVD鑑賞会</li> </ol> <p>■ 障がい者理解を促進する啓発活動の一環として、あいあいプラザまつりを共催および会場提供。（平成30年10月27日開催） （来場者数1,075人）</p> <p>■ 稲スポーツセンターの事業内容を広く知ってもらうため、文化事業で制作した作品やスポーツ事業の写真などの活動展を平成31年3月に開催予定。</p> <p><b>【社会貢献活動】</b></p> <p>■ 障がい者スポーツ指導員・レクリエーションインストラクター資格取得認定校である専門学校 大阪医療専門学校と連携し、資格取得をめざす学生に対して実習の場を提供している。</p>			
--	--	--	--	--	--

	<p>(2) 利用者の声や利用状況を管理運営等に反映させる仕組みが機能しているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障害者スポーツ指導員資格取得のための実習生 20 人受け入れ。</li> <li>・レクリエーションインストラクター資格取得のための実習生 20 人受け入れ。</li> </ul> <p style="text-align: right;">平成 30 年 12 月 28 日現在</p> <p>■ 障がい者スポーツ物品や楽器等の貸出を行い、地域での障がい者スポーツの振興や文化活動を支援している。(平成 30 年 12 月 28 日現在、実績 9 団体・計 28 回)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①近隣地域の福祉事業所やボランティア団体へのボッチャ用具の貸出</li> <li>②公的機関への音楽器具の貸出</li> <li>③民間の障がい者福祉センターへのジャンベの貸出</li> <li>④音楽療法活動団体への楽器の貸出 障がい児親の会への放送器具の貸出等</li> </ul> <p>(2)</p> <p>■ 利用者からの要望や苦情への対応については、苦情解決体制設置要綱に基づき第三者委員会を設置するなど、解決システムを確立している。また、「ご意見箱」を設置し、意見を収集するとともに、事業終了後にプログラム内容や指導方法についてのアンケート調査を実施するなど、利用者に満足いただけるプログラム提供と障がい特性に応じた支援に役立っている。</p> <p>■ 平成 30 年 6 月～11 月における教室後のアンケート実績</p> <p>レクリエーション大会、スポーツ教室 (バスケットボール、ダンス、ショートテニス、卓球 2 教室、卓球練習会 7 教室、エアロビクス、バトミントン、フライングディスク 2 教室、エンジョイスports 3 教室、ビームライフル、チャレンジスポーツ、ダンスパフォーマンス、ジュニアクラブ、キッズクラブ、サマーキッズ) 計 25 教室</p> <p>文化教室 (音楽クラブ、音楽レクリエーション教室、書き方教室、和太鼓体験教室、おやつ作り 5 教室、クラフト、ジャンベ、メイク、ラフターヨガ、カレンダー、インテリア) 計 15 教</p> <p style="text-align: right;">総定員 784人</p> <p>本人アンケート回答数 497人 回答率 69.4%</p> <p>家族回答数 294人</p> <p style="text-align: right;">計 791人 (本人、家族で重複回答あり)</p>		<p>(2) 利用者からの要望や苦情対応については、ご意見箱や第三者委員会を整備している。</p> <p>平成 30 年 6 月～11 月における教室後のアンケートでは、「これからも参加したいですか」という質問に対して、回答した 768 人のうち、96.4%の 740 人が「そう思う」と回答している。</p> <p>また、平成 30 年 12 月～平成 31 年 1 月に実施した「利用満足度調査」(参考 6 「平成 30 年度大阪府立稲スポーツセンター利用者満足度調査結果」) では、「稲スポーツセンターは利用しやすいですか」という質問に対し、「とても利用しやすい」「利用しやすい」が 93.4%を占め、「職員の説明について、どう思いますか」という質問に対し、「とても良い」「良い」が 95%を占めている。</p> <p>以上のことから、利用者の声や利用状況を管理運営等に反映させる仕組みが概ね機能していると判断される。</p>		
--	---	---	--	--	--	--

		<p>教室にいつから参加していますか 回答数758人  1年以上前 569人 75.0%  ここ1年 99人 13.1%  初めて 90人 11.9%  これからも参加したいですか 回答数768人  思う 740人 96.4%  思わない 9人 1.1%  判らない 19人 2.5%</p> <p>増やしてほしい教室（上位3教室）  スポーツ教室  1. 卓球 244人  2. エアロビクス 224人  3. ショートテニス 206人  文化教室  1. 音楽 243人  2. おやつ作り 157人  3. 和太鼓 148人</p> <p>■ 利用者満足度調査を平成30年12月15日から平成31年1月14日に実施。調査結果は参考6「平成30年度大阪府立稲スポーツセンター利用者満足度調査結果」参照。</p>			
<p>4 施設の維持管理の内容、適格性及び実現の程度</p>	<p>(1) 施設の維持管理を迅速かつ効率的に行っているか。</p> <p>(2) 利用者の安全対策は万全か。</p>	<p>(1) ■ 館内の設備については常に点検をし、不具合等があれば迅速に応急措置を講じ、大阪府へ連絡を行っている。</p> <p>■ 設備機器の点検保守については、専門的な知識と技術を要することから、第三者である専門業者に業務委託を行い、良好な状態を維持している。また、日常的に操作パネルのエラーメッセージや異音等に注意を払い、不具合や異常を確認した際には、応急処置並びに専門業者への修繕の手配など、迅速な対応を行っている。</p> <p>※業務委託設備  昇降機保守、消防設備保守、自動扉保守、空調機器保守、吸収式冷温水機保守、ガスヒートポンプエアコン保守、受変電設備保守、構内電話設備保守  なお、保守契約の締結にあつては、事業団経理規程に基づき、適切に契約を行っている。</p> <p>(2) ■ 災害時に利用者の避難誘導が迅速に行えるよう、年1回の事業団総合防災訓練と稲スポーツセンター消防計画に基づく年2回の消火訓練と避難訓練を実施している。</p>	<p>A</p>	<p>(1) 館内の設備については常に点検をし、不具合等があれば迅速に応急措置を講じ、大阪府に連絡している。  また、設備機器の点検保守については、第三者である専門業者に業務委託を行う等、良好な状態を維持している。</p> <p>以上のことから、概ね施設の維持管理を迅速かつ効率的に行っていると判断される。</p> <p>(2) 稲スポーツセンター消防計画に基づく年2回の消火訓練と避難訓練を実施している。  また、職員は普通救命救急講習会を受講し、心肺蘇生法、AEDの使用法を習得している。</p>	<p>A</p> <p>特段の指摘・提言なし</p>

	<p>(3) 緊急時の危機管理体制を整備しているか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 防犯対策として、来館者への挨拶・来館目的等の問いかけの声掛け、ヘルパー等には職員証の掲示をお願いし、緊急時用に笛を携帯するなど職員の意識を高めるようにしている。</li> <li>■ 職員は普通救命救急講習会を受講し、心肺蘇生法、AEDの使用法を習得している。</li> <li>■ リスクマネジメント委員会を原則月1回開催している。また、ヒヤリハット事例が発生したときは、臨時に開催して発生因子を分析し、それらの情報を共有することで、利用者の事故の未然防止に努めている。 「大阪府障がい者福祉事業団危機管理マニュアル（参考7）」周知徹底し、事故防止に努めている。</li> <li>■ トレーニング機器については、日常的な点検に加え、年1回専門業者による機器点検を実施し、事故防止に努めている。</li> <li>■ トレーニング室の新規利用希望者については、使用前に安全な機器の使用方法を理解していただくための講習会を実施している。また、スポーツや文化事業で使用する器具や道具類については、利用前に使用上の注意を行って、安全管理の徹底を図っている。</li> </ul> <p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■ 大阪府障がい者福祉事業団危機管理マニュアル、事業団防災計画を整備し、全職員が災害等の緊急時に即応できるようにしている。また、あいあいプラザ内の当法人3施設間で、緊急時・災害時における避難場所の協力や連絡網の整備をしている。また、当法人と（社福）大阪府社会福祉事業団の間で「緊急時相互連携協定書」を締結し、災害時の相互支援体制を構築している。</li> <li>■ 利用者のケガや発作等、救急搬送等を要する場合の「大阪府障がい者福祉事業団危機管理マニュアル」に基づき、迅速な対応ができる体制を整備している。</li> </ul>		<p>リスクマネジメント委員会を定期的開催し、ヒヤリハット事例が発生したときには、臨時に開催するなど情報共有に努めている。 トレーニング室の新規利用希望者については、講習会等を実施している。</p> <p>以上のことから、万全な安全対策を講じていると判断される。</p> <p>(3) 全職員が災害等の緊急時に即応できるように防災計画を整備するとともに、「大阪府障がい者福祉事業団危機管理マニュアル」に基づき、迅速な対応ができる体制等を整備している。</p> <p>以上のことから、緊急時の危機管理体制が整備できていると判断される。</p>	
--	------------------------------------	--	--	--	--



<p>5 府施策との 整合</p>	<p>(1) 府の協力要請に対応しているか。</p> <p>(2) 障がい者等就労困難者を積極的に雇用しているか。</p> <p>(3) 知的障がい者による清掃作業を実施しているか。</p> <p>(4) 環境問題に積極的に取り組んでいるか。</p>	<p>(1) ■ 平成30年11月に開催された、「支援学校等ダンスパフォーマンス大会・大阪」に出場した。</p> <p>■ 「大阪府障がい者スポーツ推進会議」に参画し、平成31年2月6日に開催された、第2回推進会議に出席した。</p> <p>(2) ■ 法人全体の法定雇用率2.0%に対し、1.98%となっており、継続して障がい者雇用に取り組んでいく。 (平成30年6月1日現在) 稲スポーツセンターにおける雇用率8.2%</p> <p>(3) ■ 障がい者等就労困難者を南大阪南障害者就業・生活支援センターを通じて、法人で4名雇用している。</p> <p>■ 稲スポーツセンターにおいて、清掃等の業務を行う知的障がい者を1名雇用している。</p> <p>(4) ■ 大阪府障害者福祉事業団節電・省エネ実行基本方針に基づき、それを実効性のあるものとするために節電・省エネ推進担当者を置き、節電・省エネに取り組んでいる。</p> <p>① エアコンの使用については、冷房28度・暖房20度の設定を行っている。</p> <p>② 使用していない部屋や箇所の電灯をこまめに消し、休憩時間中は消灯、節電している。</p> <p>③ 啓発ポスターを掲示し、事業所内の節水を実施している。</p> <p>④ コピー用紙の使用は両面印刷を基本とし省資源を実施している。</p> <p>⑤ 法人がもつ全ての施設においてLED化を実施し、使用電力を削減している。</p>	<p>A</p>	<p>(1) 平成30年11月に開催された、「支援学校等ダンスパフォーマンス大会・大阪」に稲スポーツセンターとして出場した。 また、「大阪府障がい者スポーツ推進会議」に参画し、平成31年2月6日に開催された、第2回推進会議に出席するなど、府の協力要請に概ね対応している。</p> <p>(2) 法人としては法定雇用率を下回っているものの、稲スポーツセンターとしては、8.2%と法定雇用率を上回っている。 したがって、障がい者等就労困難者を積極的に雇用していると判断される。</p> <p>(3) 法人で4名雇用している。 稲スポーツセンターにおいて、知的障がい者を1名雇用し、清掃作業を実施している。</p> <p>(4) 節電・省エネ推進担当者を置き、節電・省エネに取り組んでおり、概ね環境問題に積極的に取り組んでいると判断される。</p>	<p>A</p>	<p>特段の指摘・提言なし</p>
-----------------------	---	--	----------	---	----------	-------------------

<p>6 安定的な運営が可能となる人的能力</p>	<p>(1) 職員体制は十分か。</p> <p>(2) 職員採用、確保の方策は適切か。</p> <p>(3) 職員の指導育成や研修体制は十分か。</p>	<p>(1) ■ 稲スポーツセンターでは、事業計画に基づき、利用者の安全、安心、サービス向上の観点から、正規職員3人と常勤の非正規職員2人を配置しており、土・日・祝の事業の集中日には非正規職員2人の配置を行っている。(別添管理体制図)</p> <p>(2) ■ 非正規職員については、ハローワーク等に求人を出し、随時面接、作文等の試験等を実施し、保健体育教員免許所持者および介護福祉士の2名を採用した。</p> <p>(3) ■ 法人理念、職員倫理綱領等の主旨を徹底し、管理監督者の率先垂範による職員の意識改革と定期的な面談による育成を行っている。</p> <p>■ 今年度は、主に大阪府社会福祉協議会主催の研修を積極的に受講させ、職員の質の向上を図るとともに、法人外の職員と関わることによる刺激や気づきをより多く感じる体系とした。また、1年目の職員に介護職員初任者研修を受講させる等、全体的な底上げをめざすとともに、社会福祉士等の国家資格の所得助成制度も整備した。</p>	<p>A</p>	<p>(1) 事業計画に基づき、利用者の安全、安心、サービス向上の観点から、正規職員3人と常勤の非正規職員2人を配置しており、土・日・祝の事業の集中日には非正規職員2人の配置を行っている。</p> <p>(2) ハローワーク等に求人を出し、保健体育教員免許所持者および介護福祉士の2名を採用している。</p> <p>(3) 1年目の職員に介護職員初任者研修を受講させるなど、社会福祉士等の国家資格の所得助成制度の整備等を行っている。</p> <p>以上のことから、概ね安定的な運営が可能となる人的資源は確保できていると判断される。</p>	<p>A</p>	<p>特段の指摘・提言なし</p>
<p>7 安定的な運営が可能となる財政的基盤</p>	<p>(1) 運営基盤として、経営規模、事業規模、組織規模等は十分か。</p> <p>(2) 運営基盤として、財政状態は適正か。 【指標】 自己資本比率、流動比率、固定比率、総資本経常利益率、固定長期適合率</p>	<p>(1) ■ 稲スポーツセンターの他大阪府内16の事業所で福祉サービスを展開し、いずれの事業所も安定運営できており経営規模、事業規模、組織規模ともに適切な規模である。</p> <p>(2) ■ 社会福祉法人として、収支のバランスのとれた安定運営を行っており、財務状況は適正である。</p> <p>■ 長期的、安定的に持続可能な経営となるよう、指定管理以外の建物などの将来的な建替えや、設備等の維持更新のための積立を計画的に行っている。</p>	<p>A</p>	<p>(1)(2) 評価委員(公認会計士)のご意見を参考に、安定的な運営が可能となる財政的基盤について、概ね適正と評価。</p>	<p>A</p>	<p>自己資本比率、流動比率、固定比率、固定長期適合率については健全。 総資本経常利益率について、経常利益の確保が課題。単年度赤字であるため、今年度A評価は妥当と思料するが、今後注視を要する。</p>